

西洋蜜蜂・日本蜜蜂の



病気やダニについては、まずは問診票をお願いします

診断について・・・

- 農薬被害やウイルス病の検査はできません。ただし、病気によっては、写真だけでも診断が可能です。産卵育児圏の巣脾の写真は診断に役立つ場合があります。
- 問診の結果、腐蛆病が疑われる場合は、まず家畜保険衛生所へ連絡するよう指導致します。万一、診察や検体検査の結果腐蛆病の疑いがあれば届出を行います。
- ヘギイタダニ寄生の特徴的な症状が現れる頃は、重症です。シュガーロールテストで早めに調べましょう。
- こちらの指示無しに検体をいきなり送付しないで下さい。検体検査の場合は、こちらから指示する検体採取方法・容器・保存方法・輸送方法などに従って下さい。

処置・投薬・処方

- 診断の結果に応じて、必要があれば適切に蜂群への処置を指導、または薬剤の投与・処方などを行います。

記入年月日： 年 月 日

問診票

ご返信 FAX 番号
078-854-0197

tawara-monshin@tawara-api.jp

- 診察の参考となりますので、必ずご記入下さい
- 診察の結果、薬やダニ駆除剤を処方した場合、診察料として¥1,100(税込)いただきます

ふりがな お名前・屋号		蜜蜂の種類	<input type="checkbox"/> 西洋蜜蜂 <input type="checkbox"/> 日本蜜蜂 <input type="checkbox"/> 両方
ご住所	〒		
電話番号		FAX番号	
お客様番号		E-mail	
飼育場所	上記住所 ・ その他 (県)		
予防、または治療対象となる蜂群について			
採蜜用	()ヶ所	()群	平均()枚群
養成用	()ヶ所	()群	平均()枚群
花粉交配用	()ヶ所	()群	平均()枚群
過去1年以内に投与した薬剤について		処方(記入不要)	
薬剤の名前	※投薬した時期もご記入下さい		
当てはまるものにチェック☑をして下さい			
<input type="checkbox"/> A : 特に病気は発生していないが、予防のための処置を知りたい <input type="checkbox"/> ヘキイタダニ対策 <input type="checkbox"/> 腐蛆病対策 <input type="checkbox"/> アカリダニ対策 <input type="checkbox"/> B : 病気が疑われる症状が発生している蜂群を治療したい <input type="checkbox"/> C : 異常を認めるが、病気がどうかよく判らない			
Aに☑をつけた方のみご記入下さい			
採蜜開始	()年	()月頃	の予定
花粉交配	()年	()月頃	(ハウス・野外)に(販売・貸出し)の予定
その他			
Bに☑をつけた方のみ、当てはまるものにチェック☑、またはご記入下さい			
<input type="checkbox"/>	最近()頃	に他から譲渡された巣脾を使用した	
<input type="checkbox"/>	最近()頃	蜂蜜を飼料として与えた(自家産・購入分)	
割合	全体()群	内の()群	に症状が出ている
兆候	最初に異変に気がついたのは()頃		
ご自身で疑うか、または確信のある病名			
<input type="checkbox"/> アメリカ腐蛆病 <input type="checkbox"/> ヨーロッパ腐蛆病 <input type="checkbox"/> チョーク病 <input type="checkbox"/> ミツバチヘキイタダニ症 <input type="checkbox"/> ノゼマ病 <input type="checkbox"/> 麻痺病 <input type="checkbox"/> サックブルード <input type="checkbox"/> アカリダニ			
その病気を疑う理由を教えてください			

キリトリ

Cに☑をつけた方のみ、当てはまるものにチェック☑して下さい

1. 巣箱周辺を観察した結果、当てはまるものに☑をして下さい

- 巣箱の設置場所は（日陰や湿地・台の上・地面に直接）である
- 他の健全群と比べて外役蜂の出入りが少ない
- 成蜂が付近の地上を這いまわっている
- 巣門口の真下に死蜂がかたまっている
- 巣門口の真下にミイラ化した幼虫がある
- 巣門口の上部にとりついて、活気なく静止している蜂がいる
- 巣箱の底面や巣門が汚れている

2. 内部を検査した結果、当てはまるものに☑をして下さい

- 羽の縮れた蜂がいる
- 巣箱の蓋を開けると異臭がする
- 巣枠の上部に腹部を膨らませた蜂が活気なく静止している
- 他の群と比べて極端に蜂量や貯蜜が少ない
- 巣脾上の幼虫の成育が不ぞろいで、有蓋と無蓋の房室がばらついて存在する
- 巣箱内部底板上に死蜂やミイラ化幼虫がある
- 日齢が5日ぐらいまでの小さな幼虫が死んでいる
- 蛹になる前の比較的大きな幼虫が死んでいる
- 有蓋房（前蛹、蛹期）の表面がやや陥没している
- 有蓋房の中央に小さな穴がある
- 陥没や小さな穴があるような有蓋房に、つまようじ等を突っ込んでかき混ぜた後そのまま引き出してみる（ロピネステスト）と納豆のように糸を引く
- 出房直前の蜂が房室内で舌を出した状態で死んでいる
- 成蜂に油じみた光沢があり、動きが不自然
- 体を振るわせている蜂がいる
- 羽をそろえてたためない蜂がいる

注意事項・問診票の記入だけで動物用医薬品を処方することはできません

- ・ Cに☑を入られた方で、巣箱の蓋を開けると異臭がしたり、ロピネステストを行った結果、納豆のように糸を引く場合は、家畜法定伝染病に指定されている腐蛆病の疑いが濃厚ですので、最寄りの家畜保健衛生所へ連絡し、検査を受けて下さい
- ・ 問診だけでは病気の診断ができない場合、実際に診察をするか、サンプルを送っていただくようお願いすることもあります
- ・ 各種の病気やその対策について、より詳しく知りたい方は、HPのライブラリーにて情報を公開しておりますのでご覧下さい

スマートフォン・PCからの入力可能な
オンライン問診票もご利用ください。



<https://bee-lab-clinic.jp/tawara-api/web-monshin/>